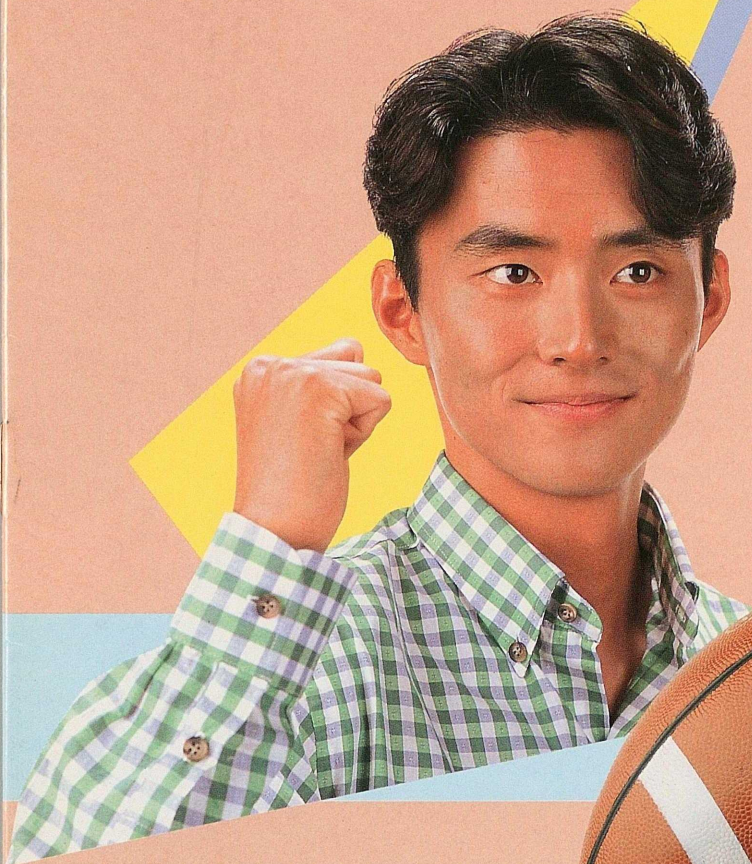


これからの 大学入試

大学入試センター試験を活用して



入試に個性と人間味を。

大学入試改善の方向。

大学入学者の選抜は、①大学教育を受けるにふさわしい能力・適性等の多面的な判定、②公正かつ妥当な方法、③入試のために高等学校の教育を乱すことがないような配慮、が基本的に重要だとされています。また、高校生段階にある受験生の幅広い人間形成にも十分留意して、それぞれの個性や能力、適性を大切にしたい画一的でない大学入試が、今まさに求められています。

大学入試センター試験を活用して。

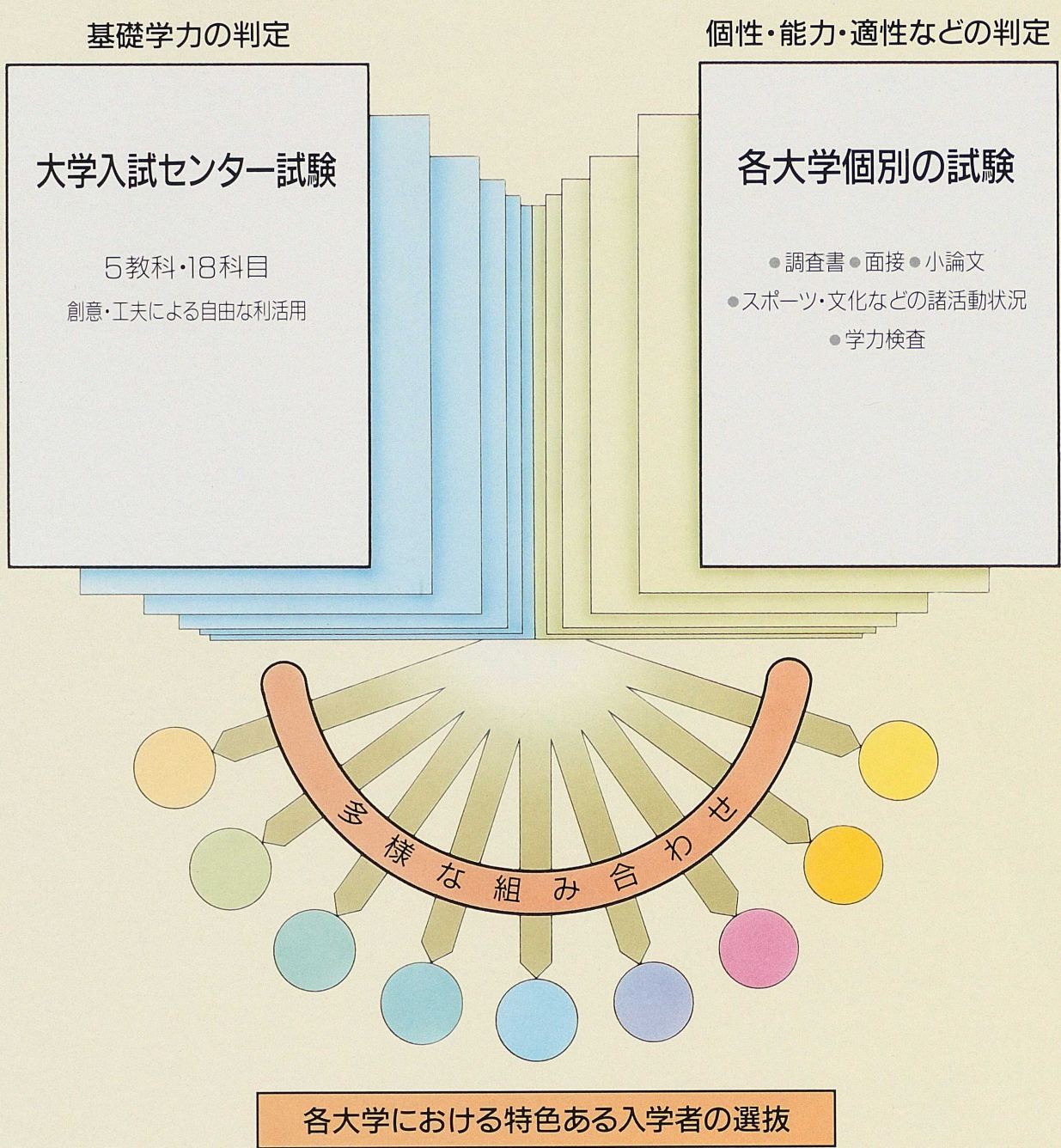
これまでも入試制度そのものや各大学の入試方法について、さまざまな改革・改善が積み重ねられてきました。平成2年度からスタートした「大学入試センター試験」は、そうした実績の上に立ち、新たな反省も加えて実施される入試制度です。この試験を有効に活用した積極的な入試の改善が期待されています。

国公私立大学の枠を超えて。

各大学の入学者の選抜は、それぞれの学風、建学の精神に沿って、より個性的で特色のあるものとして実施されることが重要です。大学入試センター試験は、そうした期待に応えます。この試験の趣旨や内容、実施結果などを、より多くの関係者の方に理解していただき、さまざまな創意工夫と共に、利用大学の輪が大きく広がっていくことが望まれます。大学入試の改善は、一部の大学だけでなく、国公私立すべての大学において一貫して進められていくことが、何よりも大切と考えます。

各大学それぞれに特色ある入試の実現を。
大学入試センター試験は、その期待に応えます。

各大学の特色ある入試をお手伝い。



大学入試センター試験は、
利用大学ごとの自由な活用が基本。

大学入学者の選抜の具体的な在り方は、各大学それぞれの自主的な検討に待つべきもの。大学入試センター試験は、このことを前提とし、各大学が独自の判断と創意工夫で自由に活用できるように考えられた試験です。受験生ひとりひとりの能力や適性などが多面的に判定できるよう、この試験の成績を役立てていただくのが目的です。

1教科や1科目だけの利用など、
多様な使い方が考えられます。

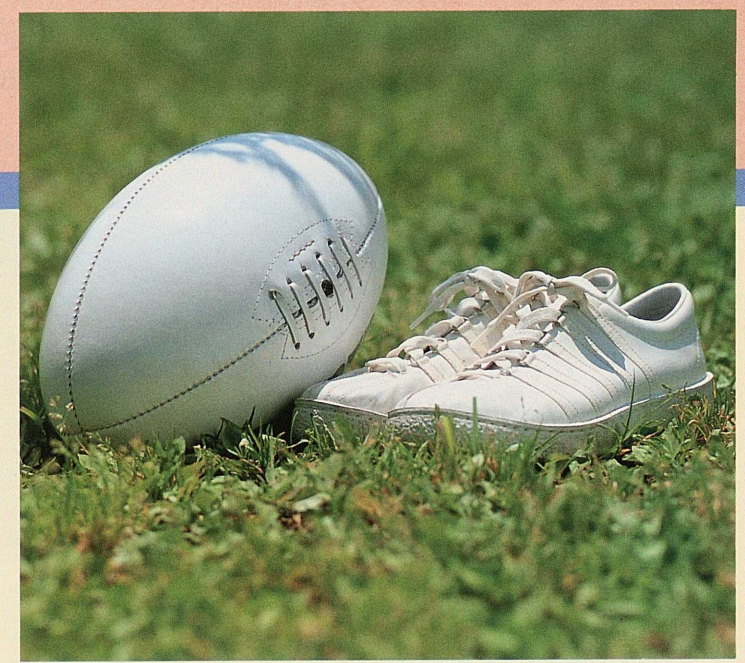
大学入試センター試験の5教科18科目をどう活用するかは、各大学の考え次第。特定教科・科目のみの利用も、もちろん可能です。また、調査書や面接、小論文、実技試験などと適切に組み合わせていくことで、各大学のカラーを鮮明に打ち出し、いわゆる輪切りや序列化に歯止めをかけることも期待されています。

(平成3年度の出題教科・科目)

- 国公立、すべての大学が利用できる学力試験です。
- 出題科目は、各大学が利用しやすいよう工夫されています。
- 受験したい大学が指定した教科・科目を受験することとなります。
- 高等学校教育にそって、良質な試験問題を用意します。

期 日	教科・科目	時間・配点	出題方法等	科目選択の方法等
平成3年 1月12日 (土)	外国語 「英語I・II」 「ドイツ語」 「フランス語」	10:00～ 11:20 (200点)		左記出題科目の3科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、科目選択に当たり、「英語」のほか「ドイツ語」又は「フランス語」の問題冊子の配付を希望する場合は、大学入試センター試験の出願時に申告する。
	数学(A) 「数学I」	12:50～ 13:50 (100点)		
	数学(B) 「数学II」 「工業数理」 「簿記会計I・II」	14:40～ 15:40 (100点)	「数学II」の電子計算機と流れ図は、出題範囲から除く。 「数学II」については、「数学II」を履修した者並びに「代数・幾何」、「基礎解析」及び「確率・統計」のうち2科目以上を履修した者のいずれにも対応した出題とする。 「簿記会計II」は、前半の内容(①特殊な取引の記帳、②帳簿組織、③株式会社の記帳)を出題範囲とする。	左記出題科目の3科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、科目選択に当たり、「数学II」のほか「工業数理」又は「簿記会計I・II」の問題冊子の配付を希望する場合は、大学入試センター試験の出願時に申告する。
	理科(A) 「物理」 「地学」	16:30～ 17:30 (100点)	「物理」、「地学」の出題には、「理科I」に含まれるそれぞれの関連内容を含む。	左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。
平成3年 1月13日 (日)	理科(B) 「化学」 「理科I」	10:00～ 11:00 (100点)	「化学」の出題には、「理科I」に含まれる関連内容を含む。	左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。
	国語I・II*	12:30～ 13:50 (200点)	「国語I」、「国語II」の範囲の近代以降の文章、古典(古文、漢文)を出題する。	
	社会 「倫理、政治・経済」 「日本史」 「世界史」 「地理」 「現代社会」	14:40～ 15:40 (100点)		左記出題科目の5科目のうちから1科目を選択し、解答する。
	理科(C) 「生物」	16:30～ 17:30 (100点)	「生物」の出題には、「理科I」に含まれる関連内容を含む。	

* 大学によっては、近代以降の文章のみの指定もあります。



利用法いろいろ、メリット多彩。

平成2年度に実施された第1回の大学入試センター試験においては、
国公立の148大学が、それぞれ創意工夫をしてこの試験を活用。
その成果については、さまざまな反響が寄せられています。

〔各大学での利用方法の一例〕

- 基礎的な学力を幅広く評価するため、5教科5科目を総合的に利用。
- 一般選抜の定員の一部について、大学入試センター試験の特定の教科・科目を利用。
- 大学が独自に行う2次試験の成績評価の参考資料として利用。
- 調査書と大学入試センター試験で第1次の選抜を行い、その合格者に面接試験を実施。
- 工学部において、大学入試センター試験の数学・外国語を利用。2次試験は理科のみを実施。
- 定員の一部について、大学入試センター試験と2次試験のうち、高得点のほうを可否の判定に使用。
- 大学入試センター試験を受験した者について、希望によりその成績を調査書に加えて判定に利用。
- 推薦入試について、国語・外国語のみを利用し、2次試験として面接を実施。

〔実施によって得られた成果〕

- 大学入試センター試験を利用した入学定員の一部については、全科目に平均的な学力を有するオールラウンド型の学生が受験した。
- 従来の入学者とは異なった層の学生を開拓することができた。
- 大学入試センター試験の利用により、今まで実施が難しかった小論文や面接を導入する余裕ができ、偏差値・輪切り型からの方向転換を図ることができた。
- 工業大学ながら、女子の入学者数が従来の3倍以上という高率を示した。
- 受験者数が従来よりも増加した。
- 大学のPRに役立ち、イメージアップが図れた。



〔平成3年度大学入試センター試験利用大学〕

国立大学—95大学(全大学)			公立大学—39大学(全大学)	私立大学—21大学(24学部)
北海道大学	富山医科大学	島根大学	釧路公立大学	八戸大学
北海道教育大学	金沢大学	島根医科大学	札幌医科大学	商学部
室蘭工業大学	福井大学	岡山大学	福島県立医科大学	※東北工業大学
小樽商科大学	福井医科大学	広島大学	群馬県立女子大学	工学部
帯広畜産大学	山梨大学	山口大学	高崎経済大学	足利工業大学
旭川医科大学	山梨医科大学	徳島大学	東京都立大学	工学部
北見工業大学	信州大学	鳴門教育大学	東京都立科学技術大学	白鷗大学
弘前大学	岐阜大学	香川大学	東京都立科学技術大学	経営学部
岩手大学	静岡大学	香川医科大学	横浜市立大学	※亜細亜大学
東北大学	浜松医科大学	愛媛大学	※富山県立大学	経営学部
宮城教育大学	名古屋大学	高知大学	金沢美術工芸大学	桜美林大学
秋田大学	愛知教育大学	高知医科大学	都留文科大学	文学部
山形大学	名古屋工業大学	福岡教育大学	岐阜薬科大学	国際学部
福島大学	豊橋技術科学大学	九州大学	静岡県立大学	慶應義塾大学
茨城大学	三重大学	九州芸術工科大学	愛知県立大学	法学部
図書館情報大学	滋賀大学	九州工業大学	愛知県立芸術大学	医学部
筑波大学	滋賀医科大学	佐賀大学	名古屋市立大学	昭和女子大学
宇都宮大学	京都教育大学	佐賀医科大学	京都市立芸術大学	文学部
群馬大学	京都芸繊維大学	長崎大学	京都府立大学	※東京工科大学
埼玉大学	京都工芸繊維大学	熊本大学	京都府立医科大学	工学部
千葉大学	大阪大学	大分大学	大阪女子大学	東京理科大学
東京大学	大阪外国語大学	大分医科大学	大阪市立大学	基礎工学部
東京医科歯科大学	大阪教育大学	宮崎大学	大阪府立大学	東邦大学
東京外国語大学	兵庫教育大学	宮崎医科大学	神戸市外国語大学	理学部
東京学芸大学	神戸大学	鹿児島大学	神戸商科大学	日本歯科大学
東京農工大学	神戸商船大学	鹿屋体育大学	姫路工業大学	歯学部
東京芸術大学	奈良教育大学	琉球大学	奈良県立医科大学	新潟歯学部
東京工業大学	奈良女子大学		※奈良県立医科大学	武蔵工業大学
東京商船大学	和歌山大学		和歌山県立医科大学	工学部
東京水産大学	鳥取大学		和歌山県立医科大学	※新潟産業大学
お茶の水女子大学			広島県立大学	経済学部
電気通信大学			広島女子大学	福井工業大学
一橋大学			下関市立大学	工学部
横浜国立大学			山口女子大学	愛知工業大学
新潟大学			高知女子大学	工学部1部
長岡技術科学大学			北九州大学	※中京女子大学
上越教育大学			九州歯科大学	家政学部
富山大学			福岡女子大学	松阪大学
			長崎県立国際経済大学	政治経済学部
			熊本女子大学	松蔭女子学院大学
			沖縄県立芸術大学	文学部
				流通科学大学
				産業医科大学
				医学部

※印は、平成3年度から利用

協議・協力し、スムーズに実施。

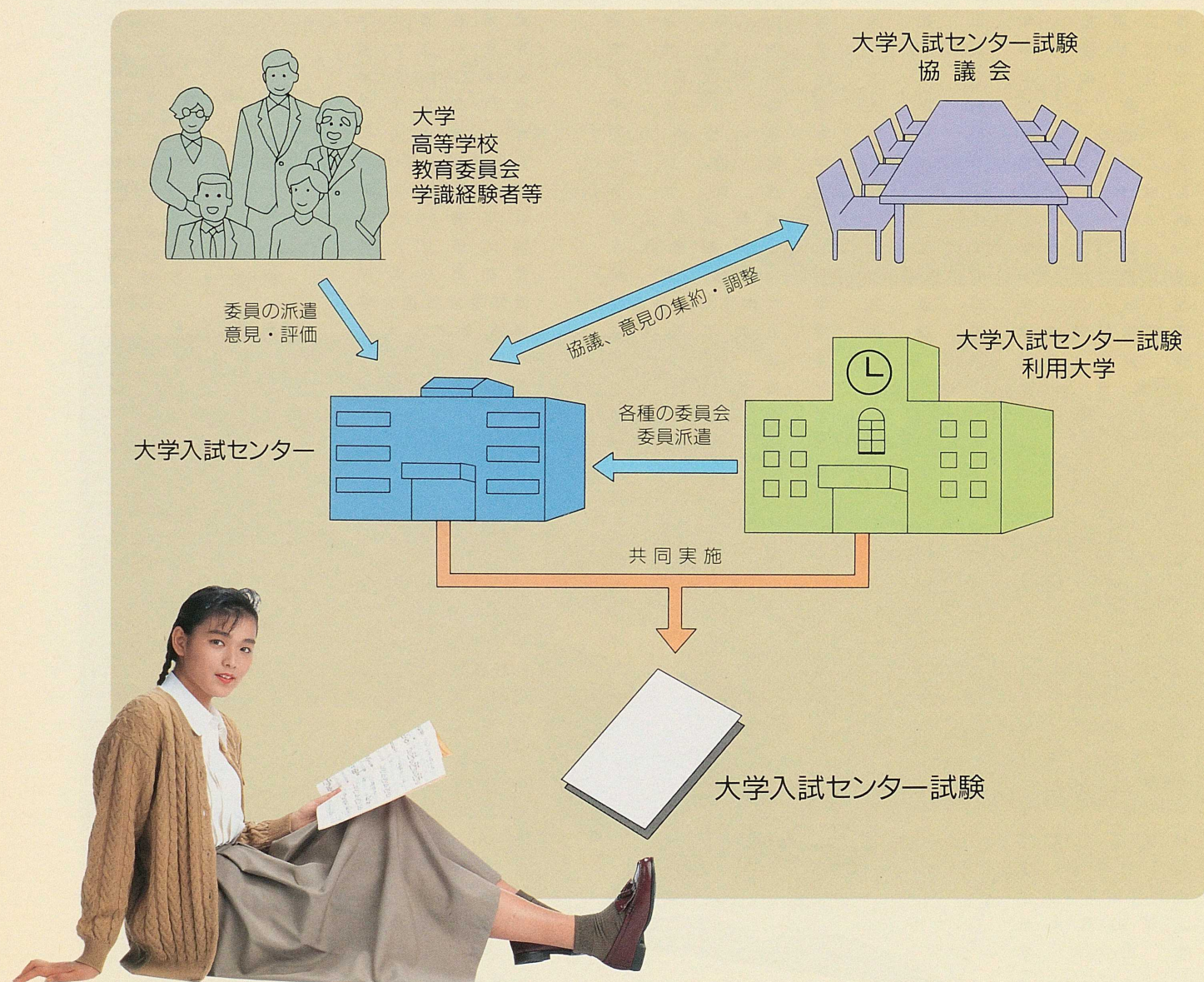
国公立の各大学が共同して試験の実施にあたります。

大学入試センター試験は、この試験を利用する国公立大学が大学入試センターと協力しながら、大学入学者選抜の一部として、共同して実施するものです。また、この試験に関し、国公立大学間でその改善や充実、及び意見の集約・調整などを行う協議組織として大学入試センター試験協議会が置かれており、試験実施に関する重要事項については、この協議会で慎重に協議を重ねたうえで決定されます。

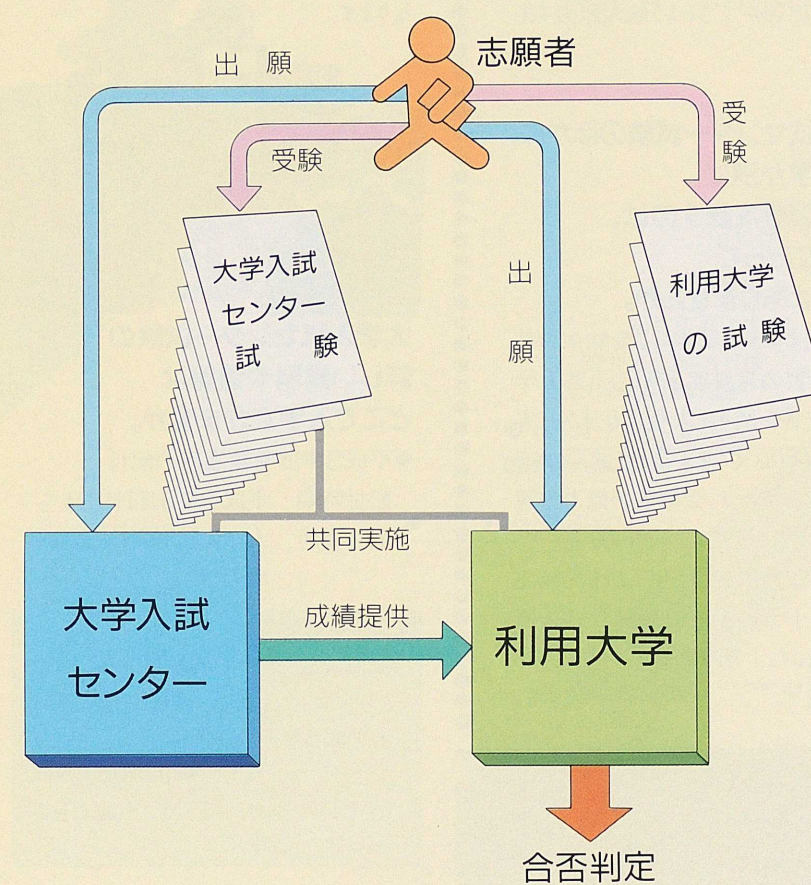
大学入試センターが試験問題の作成、答案の採点などを担当します。

大学入試センターは、主として問題の作成や印刷、答案の採点、集計など、試験の実施にあたり一括して処理することが適当な業務を担当しています。試験問題は、国公立大学の教員によって作成され、その内容については、学識経験者、高等学校関係者からの意見・評価を受けています。なお、大学入試センターの運営に関しては、各種委員会を通して各大学・高等学校関係者などの意見が十分に反映されるようになっています。

■大学入試センター試験の運営



■大学入試センター試験の仕組み



〈利用大学の役割〉

- 大学入試センター試験の利用教科・科目及び各大学の学力検査などの予告
- 試験場の設定、試験監督者などの選出
- 学生への受験案内の配付
- 試験の実施
- 答案の整理、大学入試センターへの返送

〈大学入試センターの役割〉

- 試験問題の作成、印刷、輸送
- 受験案内、実施マニュアルなどの作成
- 出願の受付、受験票の交付、試験場の指定
- 答案の採点、集計
- 試験成績などの各大学への提供

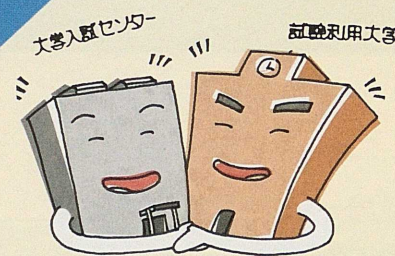
- ◎検定料／2教科以下8,000円、3教科以上12,000円。
- ◎出願方法／高校卒業見込者は在学高校経由。高校卒業者は直接郵送。
- ◎試験場／原則として——高校卒業見込者は在学高校が所在する試験地区内の試験場。高校卒業者は居住する試験地区内の試験場。



お答えします、大学入試センター試験。

大学入試センター試験

Q & A



大学入試センター試験を利用する大学のメリットは何ですか。

大学入試センター試験は、国公立大学がわけへだてなく利用でき、しかも各大学の創意・工夫に基づいて多様に活用できる試験です。そのため、独自の学風や建学の精神に基づいた特色ある選抜が可能となり、大学教育を受けるにふさわしいさまざまなタイプの優秀な学生が確保され、大学の活性化が図れるものと考えます。また、基礎的な学力の判定をこの試験にすることすれば、受験生の能力や適性を多面的に判定する独自の試験を実施するゆとりが生まれ、入試の質も一層高まることが期待できます。

前回の試験では平均点が上がったと言われていますが、易くなったのですか。

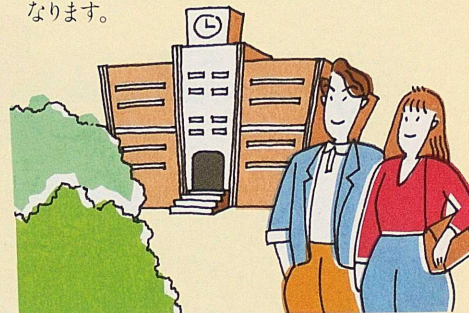
大学入試センター試験の試験問題は、高等学校における基礎的な学習の達成度を判定することを目的としており、その水準については、これまでの「共通第1次学力試験と同程度の出題」としています。各出題科目の難易度については、各年度により多少の差が生じるのは止むを得ない面もありますが、今後も安定した適切な水準の出題ができるよう最大限努力していきます。

大学入試センター試験のほかに、利用大学が別に学力試験等を課すのは、受験生にとって負担ではありませんか。

大学入試センター試験は、受験生の基礎的な学習の達成度を判定し、各大学では調査書を活用したり学力試験・実技・面接・小論文などを実施して、両方を適切に組み合わせ、受験生の能力や適性を多面的に判定しようとするものです。したがって、負担加重というよりも受験生の立場を十分に考慮し、ひとりひとりの個性を重視した丁寧な入試をめざすものと考えています。

各受験生の成績はどのように扱われるのですか。

受験生の答案は、大学入試センターが一括して採点します。その成績は、受験生が出願した大学からの請求に基づき、その大学に対してのみ提供することとなっています。受験生に対しては、試験終了後に正解と配点を報道機関を通じて発表しますが、平均点・最高点・最低点などの結果は2月上旬頃に発表することとなります。

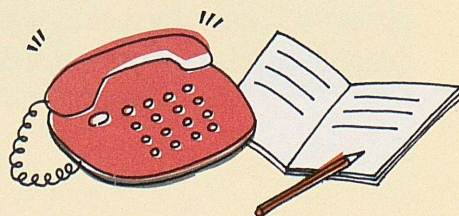


大学入試センター試験の詳しい資料や情報はどこで入手できますか。

- 平成3年度受験案内の配付
配付時期 平成2年9月1日(土)から
配付場所 大学入試センター試験利用大学

- 問い合わせ先
大学入試センター事業第一課 ☎03-465-8600
*平成3年1月1日から ☎03-3465-8600
(平日9時30分～17時、土曜日9時30分～12時)

- ハートシステム(大学進学案内)による案内
ハート情報センター 166-36155
(ビデオテックス通信網利用)

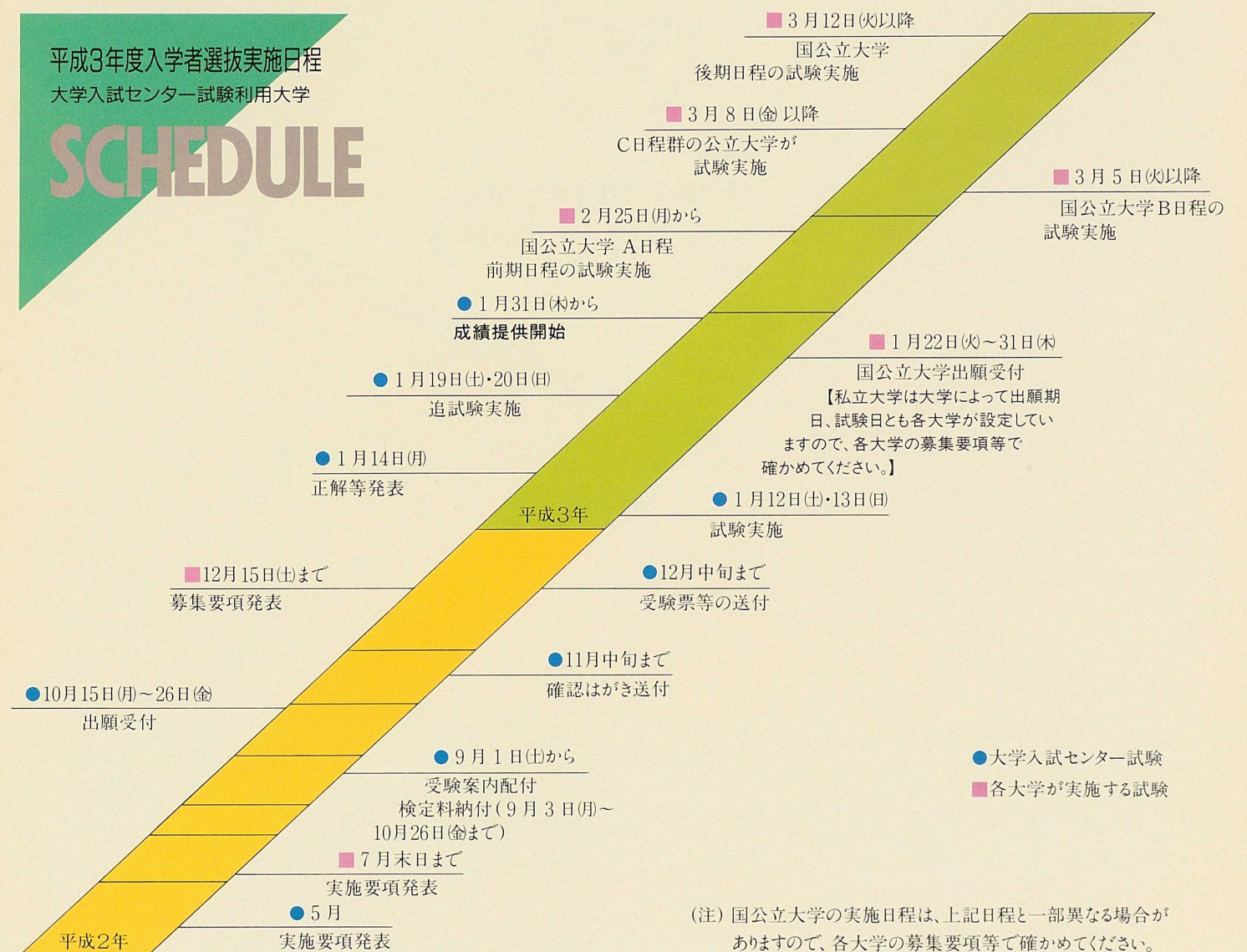


試験。



平成3年度入学者選抜実施日程 大学入試センター試験利用大学

SCHEDULE





文部省

大学入試センター

〒153 東京都目黒区駒場2丁目19番23号

☎03-468-3311(代)

平成2年6月発行